

学年：3年	単元名：考える力をのばそう 一問の数に目をつけて（図を使って考える）
-------	---------------------------------------

1. 単元目標：（全 1 時間）

○直線や円周上に等間隔に配置されたものの数と間の数との関係の着目して、図を用いて問題内容を整理し、考察する力をのばす。

考判表・順序数と集合数を選別し、的確にそれらの関係をとらえることができる。
 ・問題文にそって、情景図や線分図をかいて、問題を解いていくことができる。

知・技・直線上に配置された場合と円周上に配置された場合の違いを理解する。
 ・図を見て、間の数と木の数の関係を見つけて答えを求めることができる。

2. 指導内容

・

3. 指導のポイント

○問題文にそって、情景図や線分図をかいていく。

4. 指導にあたって

①子どもたちにどんな見方や考え方を獲得させたいか。

②それを通してどんな子どもに育てたいか。

5. 学習展開

（ポイント）

○順序数と集合数の混じった問題を図などに表して解くことができる。

- ・順序数と集合数を選別し、的確にそれらの関係をとらえることができる。
- ・問題文にそって、情景図や線分図をかいて、問題を解いていくことができる。

○問題文を時間的経過に従って、イメージし、それをどのように表現するかを考えることが重要である。

○木の数と間数は、指を広げたり、輪にしたりして、考えさせる。

指を広げると→指は、5本。間は、4つ。

指を輪にする→指は5本。間は、5つ。

ここから、きまりを見つける。